

シリーズ(その⑤)

トライシティー TRY ICT やすぎ

ICTを活用した教育で学校や教室が変わる様子をシリーズでお伝えしています。

デジタルの特性や機能を 生かした教科書を導入

「サイタ サイタ サクラ ガサイタ」で始まる尋常小学校1年生の国語の国定教科書。昭和8年から使われた、この通称「サクラ読本」は、安来市の布部尋常小学校の卒業生、井上^{ナツ}趙先生が編さんされた教科書として知られています。そして戦後、昭和38年度より義務教育で使用する教科書



▲図形を動かしながら面積を求める小学校4年生の算数の授業。

は無償化され、検定教科書として多くの子どもたちの学びを支え発展してきました。

しかし今、その教科書が、文部科学省が推進する「GIGAスクール構想」により大きく変わりつつあります。「デジタル教科書」の導入です。

これまでの紙の教科書に代え、同じ内容を子どもたちは1人1台のタブレット端末を使用して学習しています。

今年度から全ての小中学校の英語の学習で活用。また、市内16の小中学校では、他の教科についてもデジタル教科書を活用した学習を開始しました。

デジタル教科書の強みは、動きのある図をアニメーションで見られ、資料の動画も再生、また本文や図版を拡大する機能です。算数の立体図形やおはじきなどを画面上で触って動かしながらの学習や、英語の正しい発音や国語の朗読を聞くことも可能です。

多様な強みを持つこのデジタル教科書、全ての教科での本格導入は令和6年度の予定です。

問い合わせ

学校教育課 ☎23・3180

日本遺産を巡るたたら音色 連載② 日本遺産の 構成文化財

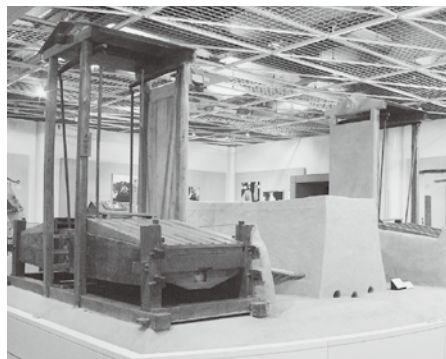
今号は日本遺産「出雲國たたら風土記」を構成する文化財を紹介します。

たたら製鉄用具250点

(国指定重要有形民俗文化財)

和鋼博物館には砂鉄採取、築炉、製錬、銑鋼など、たたら製鉄の一連の作業を伝える用具を展示しています。靖国たたら(奥出雲町)などの中国地方のたたら場で実際に使われていたもので、身近な樹木を加工して作られています。木の種類や形状、重さなどに先人の工夫と自然の共生を見ることがができます。

そして製鉄炉に風を送る装置「天秤鞆」は人工的に大量の風を



▲明治~大正期に若杉たたら(邑南町)で使っていた天秤鞆(和鋼博物館展示室)。

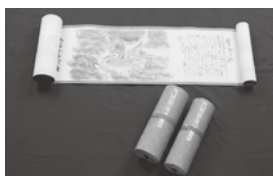
送ることができ、炉内の温度が上がり、鉄の質と生産効率が高まる画期的な道具です。エントランスには明治時代に使われていた天秤鞆を設置。実際に踏んで体験することがができます。

たたら絵巻「玉鋼縁起」

(安来市指定文化財)

安来市出身の画家松本春々が昭和21年に制作した、たたらの一大会巻。たたら絵巻は全国に数例しかない貴重な資料で、実際に幾度もたたら場を訪ねて制作され、たたら文化を視覚的に分かり易く伝えていきます。

近代に特殊鋼の生産拠点に成長する過程を、水墨淡彩の軽妙な筆使いで表現しています。



▲「玉鋼縁起」。幅33cm、長さ55m。

企画展 日本遺産の魅力(観覧無料)

日本遺産ストーリーのパネル展を開催します。ぜひお越しください。

開催期間 4月29日(金)~5月15日(日)

(※休館日:5月9日(月)、11日(水))

場所 和鋼博物館市民ギャラリー

問い合わせ

和鋼博物館 ☎23・2500

